

平成29年度 調布市立第一小学校 学校経営計画

学校教育目標

◎思いやりの心を持ち なかよく協力する ○よく考え 自分から進んでやりぬく ○じょうぶなからだで 明るい生活をする

目指す学校像(ビジョン)

- <安全・安心> どの子にも居場所があり、安全で安心して過ごせる学校
- <礼儀・親切> 礼儀正しい態度と、親しみを持ち相手を思いやる優しさにあふれる学校
- <学 習 > 学ぶことが楽しいと実感でき、学習への意欲がかき立てられる学校
- <効率・協働> 職員一人一人が自らの役割を果たすと同時にチームワークが発揮できる学校

本校の現状と課題

- ・礼儀ある態度と、相手を思いやる心の育成を重点として教育活動の充実を図る必要がある。
- ・地域・保護者の期待に応えることのできる教員の指導力と指導の成果をあげることが課題である。
- ・児童理解力の向上と組織的に指導にあたる体制作りが必要である。

| 領域 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 具体的方策 | 評価指標 ※ 数値目標が可能な項目について設定する |
|------------|-----------------------------------|---|---|---|
| 学力向上 | ○進んで学習に取り組み、探求する態度の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の徹底 ・基礎的・基本的事項の確実な習得 ・自ら考え、判断する力の向上 ・情報や情報機器を適切に活用する能力の向上 | <ol style="list-style-type: none"> ①話の聞き方やルールの徹底を図る。 ②つまづきを解消する補習を行う。 ③学校図書館年間指導計画に基づいた図書館利用や読書活動の充実を図る。 ④ICT活用を推進し、児童の情報活用能力や情報モラルを育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による自己評価結果(75ポ イント以上) ・管理職による授業観察 |
| | ○自ら考え、判断し、表現する態度や能力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意欲を高める指導と評価の充実 ・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・ICTを活用した授業の工夫 | <ol style="list-style-type: none"> ①繰り返し学習する時間の確保を行う。 ②ねらいを明確にした授業を行い、毎時間の振り返りを確実に行う。 ③主体的・対話的で深い学びについての研修を行い、共通の認識に立った授業改善に取り組む。 ④司書教諭との連携・協力により図書館利用や読書活動を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・都、国の学力調査の結果の比較分析 ・教職員による自己評価結果(75ポ イント以上) ・学校評議員による評価結果(80ポイント以上) |
| 健全育成 | ○思いやりにあふれ、進んでよりよい関係を築くことのできる児童の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の向上 ・挨拶や適切な言葉遣いの実行 ・道徳教育の充実を図る | <ol style="list-style-type: none"> ①「一小のきまり」に基づき、基本的な生活習慣と規律ある落ち着いた生活態度の定着を図る。 ②日常的に挨拶や言葉遣いの指導を行う。 ③道徳授業地区公開講座や「いのちと心の教育」月間における授業公開等を通して家庭・地域との連携を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による自己評価結果(80ポ イント以上) ・保護者アンケート結果(80ポ イント以上) ・学校評議員による評価結果(80ポ イント以上) |
| | ○偏見や差別のない優しい心の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流活動や共同学習の充実 ・いじめをしない、させない学級風土の醸成 ・達成感を味わわせる児童会活動や学校行事の工夫 | <ol style="list-style-type: none"> ①心が通い合う温もりのある学級・専科経営を行う。 ②フレンズ班活動を通して異学年の交流を行い、思いやりの心や協調性を育む。 ③いじめ防止対策委員会を中心とした取り組みの充実や早期解決のための組織的な対応を推進する。 ④特別活動における振り返りや自己評価の工夫を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による自己評価結果(75ポ イント以上) ・保護者アンケート結果(80ポ イント以上) |
| 健康・体力づくり | ○体力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・自らの体力や健康への関心を高める ・スポーツへの興味関心を高める ・体育授業の改善と日常的な運動を促す工夫 | <ol style="list-style-type: none"> ①毎日の児童の健康観察を徹底し、感染症の拡大を防ぐ手立てや環境整備を行うとともに、全校朝会等で養護教諭による保健指導を行い健康に過ごすための知識や関心を高めさせる。 ②体力テストの結果を基に、体育授業の改善を図り、体力の向上や健康の保持増進への関心を高めさせる。 ③中学年におけるタグラグビーの授業や、一校一取り組みとしての「縄跳び」「持久走」に全校で取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による自己評価結果(75ポ イント以上) ・保護者アンケート結果(75ポ イント以上) ・児童アンケート結果 |
| | ○自らの健康や安全に気をつけてより良い生活を送る力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら、自他の生命を守ろうとする態度や能力の育成 ・安全管理の徹底と危険の予知や回避能力の育成 ・食に関する指導の充実 | <ol style="list-style-type: none"> ①災害への備えを推進し、より実際の避難訓練の実施・改善を行う。 ②食物アレルギーや重大事故を想定した対応訓練を実施し、児童と教職員の緊急時の対応力を高める。 ③食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づき、健康でよりよい生活習慣を身に付けられるよう指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による自己評価結果(75ポ イント以上) ・保護者アンケート結果(75ポ イント以上) |
| 保護者・地域との連携 | ○保護者や地域の方々に信頼される学校づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校、学年、学級の実現 ・保護者との連携協力の充実 ・地域の人材を活用した学習の充実 | <ol style="list-style-type: none"> ①学年会や分掌組織内での協力・連携による、組織力の向上を図る。 ②学校公開や授業参観、学校行事等を通して児童の姿を積極的に公開する。 ③地域の団体や人材を積極的に活用して、教育活動の質の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者の協力による授業実施回数 ・学校評議員による評価結果(75ポ イント以上) ・教職員による自己評価結果(75ポ イント以上) ・保護者アンケート結果(75ポ イント以上) |
| | ○防犯、防災意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や地域の諸団体との連携強化 ・教育活動の積極的な広報 | <ol style="list-style-type: none"> ①学校評議員による授業参観や評価などを学校経営の改善に生かして行く。 ②学校ホームページや学校だより、学級便り等の広報を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員による評価結果(75ポ イント以上) ・保護者アンケート結果(80ポ イント以上) |
| 特色ある教育活動 | ○交流や共同学習の充実と障害理解教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・通常学級と支援学級との交流や共同学習の推進 ・通常学級での障害理解教育の推進 ・特別支援学校との交流活動の充実 | <ol style="list-style-type: none"> ①特別支援学級と通常の学級との「交流及び共同学習」を通して、児童や教員の障害理解を進める。 ②調布特別支援学校との交流を継続し活動内容の充実を図っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による自己評価結果(75ポ イント以上) ・交流および共同学習の実施結果 |
| | ○地域の環境を生かした体験的活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ・パラスポーツ教育の推進 ・特設クラブ(サッカー・吹奏楽)の充実 ・電気通信大学や地元商店会との連携強化 | <ol style="list-style-type: none"> ①リハビリ・パラスポーツ教育全体計画を基に、各教科や領域の横断的なカリキュラムを工夫し推進する。 ②地域の教育力を活用し、吹奏楽クラブやサッカークラブの活動を継続し充実を図っていく。 ③地域行事への参加や地域探検等の学習で関わりを充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による自己評価(75ポ イント以上) ・児童アンケート結果 |